

～ これからのまちづくりを応援します！～

「地域包括ケアを実現する新たなまちづくり」シンポジウムのご案内

1. 開催日時：2017年 **12月16日（土）10:00～12:45**
2. 会場：**名古屋大学医学部附属病院内 中央診療棟 A 3F「講堂」**（裏面地図参照）
3. 定員：200名（先着順）
4. テーマ・プログラム（予定）

「地域包括ケアを実現する新たなまちづくり

～産官学で取り組む地域の事情に合わせた民間活力の活用～

地域包括ケアの実現、すなわち地域住民の安心で豊かな長寿を支えていくには、行政（自治体）だけでできることは限られます。地域に点在する多様なメンバーがそれぞれの機能を活かしながらかつがり、総合的なサービスを提供できる環境の整備（まちづくり）が望まれます。本シンポジウムでは、地域包括ケアを推進するために、「自治体」、「大学」、「民間企業・事業者」等がどのように協働していけるか、基調講演やパネルディスカッションを通じて考えていきます。

①開会挨拶：秋山弘子（委員会委員長、東大高齢社会総合研究機構特任教授）

②基調講演：「**地域包括ケアシステムの進化と展望**」

三浦公嗣（慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター・臨床研究支援部門長 教授
元 厚生労働省 老健局 局長）

（挨拶・講師紹介）葛谷雅文（委員会委員、名古屋大学大学院医学系研究科
地域在宅医療学・老年科学教室 教授）

③事業説明：ニッセイ基礎研究所（老人保健健康増進等事業 実施主体）

④情報提供：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 内閣参事官 尾田進

⑤パネルディスカッション「**地域包括ケアの多様化（産官学協働の可能性）**」

（ファシリテーター）後藤克幸（CBC テレビ 論説室 解説委員）

（コメンテーター）鈴木裕介（名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター副センター長）

（パネリスト）先駆的に産官学協働に取り組まれている実践者、有識者から

①有識者【学】都築晃（藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター 医学博士・理学療法士）

②自治体【官】小林浩之（松本市 健康産業・企業立地担当 部長）

③企業 【産】小野田実（東郷町施設サービス㈱ 代表取締役社長）

－産官学協働事例のご紹介（ショートプレゼン）～パネルディスカッション

※敬称略

5. 参加費：無料（会場までの移動費はご負担ください）

6. 主催：地域包括マッチング事業委員会（平成 29 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業内に設置）

＜委員会メンバー＞（◎委員長 50 音順、敬称略）

◎秋山 弘子 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
五十嵐智嘉子 一般社団法人 北海道総合研究調査会(HIT) 理事長
葛谷 雅文 名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学教室教授
小泉 秀樹 東京大学先端科学技術研究センター／工学部都市工学科 教授
辻 哲夫 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
濱田 健司 全国農福連携推進協議会 会長
牧瀬 稔 関東学院大学法学部地域創生学科 准教授
町 亞聖 フリーアナーサー
宮本 太郎 中央大学法学部 教授

＜協力＞ 東海北陸厚生局、関東信越厚生局、北海道厚生局

＜事務局＞ 株式会社ニッセイ基礎研究所

7. 申込方法

下記の事項を記入の上、下記 シンポジウム事務局までメールにてお申込みください。

①所属機関名、②お名前(複数の場合は全ての方のお名前)、③連絡先お電話番号

申込〆切 2017 年 12 月 8 日（金）

申込先 email : sympo2@cc-aa.or.jp

＜シンポジウム事務局＞ 一般社団法人 高齢社会共創センター
東京都文京区弥生 2-11-16 東大工学部 9 号館総合試験所内

8. 会場地図

名古屋大学医学部附属病院内 中央診療棟 A 3F「講堂」

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/access/>

■ JR 中央本線・鶴舞駅（名大病院口側）下車 徒歩 3 分

